

承認番号	4113
研究課題名	HBV再活性化例の予後調査（介入投与された核酸アナログ中止後の経過を含めて）
研究の意義・目的	B型肝炎ウイルス (HBV) 再活性化を発症した患者さんの予後や治療で投薬された抗HBV剤のその後の継続状況を調べます。この結果からHBV再活性化対策を評価し、再活性化した患者さんへの対応策の修正・改善に役立てます。
研究を行う期間	臨床研究倫理委員会承認後から西暦2022年12月20日まで
研究対象者の範囲	2007年4月1日～2020年12月31日に大阪市立大学医学部附属病院にて、免疫・化学療法を実施した後にHBV再活性化を発症した（入院 or 通院）患者さまが対象です。
お願いする内容	<p>大阪市立大学医学部附属病院が共同研究の代表施設として研究いたします。</p> <p>共同研究組織：国立国際医療センター研究所、国立国府台病院、兵庫医科大学附属病院、国立病院機構長崎医療センター、香川大学医学部附属病院、大阪市立総合医療センター、東京都立駒込病院</p> <p>（研究責任者：大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学 病院教授 田守昭博）</p>
	検査データ、診療記録等
頂いた試料・情報の管理について責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学 病院教授 田守昭博
この研究を行っている施設（共同研究機関）	<p>国立国際医療センター研究所、国立国府台病院、兵庫医科大学附属病院、国立病院機構長崎医療センター、香川大学医学部附属病院、大阪市立総合医療センター、大阪市立大学医学部附属病院、東京都立駒込病院</p> <p>（研究責任者：大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学 病院教授 田守昭博）</p>
代表施設のURL	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/liver/
研究の成果を公表する方法	匿名化し、医学学会・医学雑誌などにおいて調査結果を発表する予定です。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	<p>電話対応（電話番号：06-6645-3905）</p> <p>所属名：肝胆膵病態内科学教室 担当者：田守昭博</p>